



SERVE TO CHANGE LIVES

# 吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

## ウィークリー 2021-22



創立 1980.6.12  
事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020  
URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail [src@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:src@jasmine.ocn.ne.jp)  
例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00  
会長: 杵本日出夫 幹事: 木下基司 会報委員長: 木田昌宏

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

第1852回例会 令和4年6月27日  
今週の歌 「我等の生業」  
卓話 「次年度活動方針」  
会長エレクト 伊藤 泰充  
「一年間の総括」  
会長 杵本日出夫

### 次回の例会

第1853回例会 令和4年7月4日  
今週の歌 「君が代」 「奉仕の理想」  
卓話 「新年度挨拶」  
会長 伊藤 泰充  
副会長 紙谷 幸弘  
「今年度主要行事予定」  
幹事 橋本 芳信

### 前回の記録



#### 会長挨拶

杵本会長



本年度の始まりに、榎原音楽委員長より、例会でサックス演奏をしてくださいねと、お声がけをいただき、いつ実行しようかときっかけを探していましたが、あれよあれよという間に時間が経ってしまい今日になってしまいました。

サックスという楽器は、ピアノの様に和音といわれる複数音を同時に鳴らすことができないので、独奏や複数人数でのアンサンブル演奏では良く用いられますが、伴奏には不向きな楽器です。

今回の様に、尾崎紀世彦さんの「また逢う日まで」の伴奏となりますと、生のサックスだと伴奏が寂しくなりますので、電子サックスの「エアロフォン」で華やかな音で伴奏をさせていただきました。

話は変わりますが、例会の会長挨拶は、今回を含めると、あと2回となってしまいました。

毎週の会長挨拶は、自分の身近な出来事で、皆さん

に興味を持ってもらえるような話題を考え、まとめることが、私にとっては大変刺激となり、勉強をさせて頂いたなと感謝しています。



#### 幹事報告

木下幹事



1. 各テーブルに「すいたフェスタへのご協賛のお願い」を置いておりますので、ご覧下さい。後程、西村会員からご報告があります。
2. 6月23日(木)は事務局がお休みになります。急なご連絡が御座いましたら、幹事の木下までご連絡下さい。



#### 出席報告

出席委員会 本田委員長

- 会 員 数 42名 出席会員数 37名
- 来 客 0名 本日の出席率 97.37%
- ※コロナ禍によるメーキャップ規定により5月30日の出席率は100%

## 次年度社会奉仕委員会 近藤委員長

次年度7月早々の社会奉仕事業が2点ありますのでご報告させていただきます。

まず1点目、7月1日(金)当クラブ主催のクリーナーを実施致します。

時間は午前7時30分から、集合場所はカーリーノ江坂1F西出入口集合をお願い致します。

2点目、7月3日(日)にクリーン・エサカが豊津西中学校で午前10時30分から実施予定です。次週の例会で再度ご連絡させていただきます。

以上2点、よろしくお願い致します。

## すいたフェスタ2022PR

すいたフェスタ実行委員会副会長 西村会員

先週の例会で尾崎実行委員会会長から話がありましたすいたフェスタ2022の協賛金の件ですが、本日皆さんのテーブルに案内を置かせていただきました。9月4日(日)開催に向けてご協力よろしくお願いします。

## ニコニコ箱

島倉副SAA

- 田中パスト会長 先週の欠席のお詫び。
- 本田会員 理事の方々ありがとうございます。木下幹事特におつかれさま。
- 阿部副会長 ザマッチアベマで9時から天心VS武尊を無料配信です。
- 西村会員 すいたフェスタ2022協賛金よろしくお願いします。
- 清水(良)会員 本日の卓話でクラブ奉仕の総括をさせていただきます。1年間ありがとうございました。

|          |            |
|----------|------------|
| 本日のニコニコ箱 | 15,000円    |
| 累計のニコニコ箱 | 1,137,350円 |
| 累計のニコニコB | 11,000円    |



### 1年間の総括

## クラブ奉仕担当理事 清水 良寛

クラブ奉仕担当理事の総括報告をさせていただきます。

今年度も「コロナ禍」の影響による制約がありましたが、クラブ奉仕に関する各委員会とも、それぞれ、創意工夫しながら、活動に取り組んでいただきました。

以下、報告させていただきます。

### 1 クラブ奉仕委員会

「コロナ禍」における諸々の制約があるものの、会

員がロータリー活動に取り組むことができるよう、各委員会と連携してクラブ奉仕活動を行うことを目標として活動しました。

各委員会の活動は、後に述べるとして、まずはクラブ奉仕委員会としての活動をお話します。

クラブ奉仕委員会、会員増強委員会、クラブ研修・規定情報委員会の共催で、7月30日の炉辺談話及び8月2日のクラブフォーラムを開催して、「会員増強と会員種別の多様化について」議論していただきました。

そして、その議論を踏まえて、クラブ研修・規定情報委員会を中心に、会員の承継と承継後の会員身分の在り方などについて検討し、細則を一部変更し、会員身分として新たに「特別会員」を設ける件を承認していただきました。

### 2 出席委員会<本田委員長、小川委員>

今年度は、「コロナ禍」におけるメーキャップ規程が適用されていることもあり、また、Zoom併用のハイブリッド例会の運営については、木下幹事とWEB会議推進委員会の皆様のご尽力のお陰様で、出席率100%を継続することができました。

### 3 クラブ会報委員会

<木田委員長、瓜生副委員長、榎原委員>

広報誌とホームページをリンクさせて、より見やすいように、工夫していただきました。

水曜日までに原稿をそろえる→木曜日までに大枝印刷へ提出→金曜日に大枝印刷より校正が届き再校チェック→大枝印刷へ印刷依頼→月曜日に会報誌が大枝印刷より事務局へ届けられる、という流れに基づいて、遺漏なく、会報の発刊を実施していただきました。

### 4 親睦活動委員会

<福原委員長、島倉副委員長、瓜生委員、坂本一成委員、佐々木委員>

毎回の例会受付の対応など、委員の皆様、ありがとうございました。

福原委員長のご尽力のお陰様で、コロナ禍の制約の中、秋の家族例会とクリスマス家族例会を開催できました。残念ながら、春の家族例会は中止となりましたが、福原委員長の事前のご準備に、感謝致します。

### 5 会員増強委員会

<西村委員長、梶山副委員長、瀧川委員>

会員増強については、西村委員長から、ゲスト例会のご提案も頂戴しましたが、コロナ禍の状況を踏まえ、実現に至りませんでした。そのほかコロナ禍の影響で、勧誘活動がままならず、増強委員会としては難しい1年だったと思います。



## 6 プログラム委員会

＜橋本芳信委員長、木田副委員長、尾家委員＞

クラブフォーラムをクラブ奉仕担当と国際奉仕担当の2回開催してもらいました。

社会奉仕事業関連でジャンボ将棋大会の取組や将棋の魅力を伝えるため、外部講師を招いた卓話を実施していただきました。

また、東京パラリンピックが開催されましたので青少年奉仕委員会と共同で、東京パラリンピック出場選手を卓話に呼んでいただきました。

さらに、内部卓話企画として、「私の人生」という題目で、会暦の長いメンバーの方から卓話をして頂きました。

新年例会には歌と三味線と踊りを開催しニコニコBにてお酒を提供しました。

## 7 記録（IT・広報含む）委員会

＜塚脇委員長、佐藤副委員長、伊藤委員＞

クラブ会報委員会と連携して、例会の様子の記録を残していただきました。

塚脇委員長には、毎回、Zoom設営の対応をしていただき、ありがとうございます。

さらに、全ての例会において、HP、FBへの更新作業も担っていただきました。

## 8 Web会議推進委員会

＜木田委員長、塚脇副委員長、木下委員＞

Zoom例会（会議）の定着に尽力していただきました。

木下幹事が、例会次第をパワーポイントにて作成して頂けたのでよりスマートな例会運営になりました。

## 9 クラブ研修・規定情報委員会

＜井伊委員長、坂口副委員長、橋本徹也委員＞

新入会員へのレクチャーを実施していただきました。

細則を一部変更し、会員身分として新たに「特別会員」を設ける件について、諸々の調整、ありがとうございました。

## 10 音楽委員会

＜榎原委員長、島倉副委員長、田中委員＞

70年～80年代に流行した懐かしのヒット曲をiTunes Storeよりアイポットにダウンロードして流すという対応をしていただきました。

スクリーンに歌詞を映して、歌いやすい環境を整えていただきました。マスクをして歌うのは息苦しい面もありましたが、榎原委員長にリードしてもらいましたので、活気のある歌の時間になったと思います。

家村副委員長と二人だけの委員会でしたが、木下幹事がいつもサポートに入って頂きなんとか無事に終えることが出来そうです。

杵本年度は、地域の人たちを豊かにするためにという会長の方針に基づき地域の人ともに地域社会への貢献が出来るような活動を目指し活動してきました。

具体的には、地域社会に貢献できる奉仕活動を実践する意味合いから毎月1日のクリーン活動、年2回の献血活動そして杵本会長肝いりの地区補助金事業『ジャンボ将棋事業』の実施がありました。

その他にも社会を明るくする運動街頭活動、クリーン・エスカへの参加、迷惑駐車追放パトロールの参加などが予定していましたがいずれも新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となりました。

まずは、地区補助金事業（ジャンボ将棋事業）の実施について報告します。地区補助金を利用して吹田まちづくり歴史文化センターにジャンボ将棋駒2セットを寄贈しました。その後、その将棋駒セットは、豊津第1小学校と豊津西中学校に貸し出し保管してもらっています。複数校においてジャンボ将棋大会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、学校側の許可が出ず実施には至りませんでした。しかしながら、寄贈の際に豊津第1小学校将棋部による試技では子ども達が互いに相談しながらワイワイとジャンボ将棋を楽しむ風景を見ることが出来、事業の成功が間違いないと感じられるものでした。この事業は是非とも引き続き続けていってほしいと思います。

次にクリーンデー活動の実施です。7月10月12月3月6月は江坂企業協議会の主催、9月11月2月4月は吹田西RC主催でした。なお、緊急事態宣言等のため7月9月2月は中止となりました。

11月1日開催のクリーンデーは、1992年11月に本事業を始めて30周年ということで記念として早朝例会の実施を致しました。初めての試みでどの程度の会員が出席頂けるか不安であったが、29名の参加があり、瀧川パスト会長にこの事業の成り立ちについてお話し頂きました。又、記念品として第1回のクリーンデーの写真をプリントしたスポーツタオルを作成しました。

次は、献血活動の実施。この事業は、梶山パスト会長のビケンテクノ様の大きな協力があって成り立っています。会場に駐車場を提供頂くと共に社員さんが多く協力頂いています。今年度は8月26日と3月24日に実施。献血受付者には記念品としてマスクを配布しました。

最後に、大阪府無事故無違反チャレンジコンテスト

には会員20名が参加しました。

1年間社会奉仕委員長として活動した中で感じたことは、こんなに社会に貢献奉仕しているにもかかわらずロータリークラブ 吹田西ロータリークラブの認知は上がっていません。認知を上げるために例えばクリーンデーの際に揃いのビブスを着用するなどもっとクラブを前面に出すのも良いのでは無いかと思いました。次年度の近藤委員長にはその辺の工夫をお願いします。一年間有り難うございました。



## 職業奉仕担当理事 堀 豊

今年度の職業奉仕委員会につきまして、杵本会長の方針に基づき、副委員長の石崎パスト会長や委員の井伊パスト会長にご協力賜りながら、コロナ禍で出来ることを考えて取り組んでまいりました。

具体的には次の4点です。①歴代の職業奉仕活動の取り組みをまとめ、それを参考に職業奉仕の在り方について意見交換を行なう炉辺談話を、1月21日にこの新大阪江坂東急REIホテルにて16名の会員の方々にご出席をいただき開催いたしました。コロナ禍で活動が制限されるところもございましたが、今後の職業奉仕の在り方について皆さまより熱いご意見をいただくことが出来ました。

②地区の職業奉仕委員会へ卓話を要請し、2月21日の例会にて戸田委員にお越しいただき卓話を実施いたしました。近年におけるRIの職業奉仕に対する姿勢変化や日本と海外の考え方の違い、職業奉仕が基本でありながらもロータリアン以外の人にとどのように説明をすれば良いか分かりにくいところを内向きと外向きに分けて解説いただくなど大変勉強になりました。また、戸田委員が所属されている大阪中之島ロータリークラブ様の具体的な取り組みもご紹介いただき参考になりました。

③当クラブ会員がロータリアンとして取り組まれている職業奉仕の活動を、会員の皆様にご協力をいただきながらレポートさせていただき、会報へ掲載させていただきました。今年の2月から今月まで月1回、計5名の会員の方々にインタビューさせていただいております。2月は西村会員、3月は佐藤会員、4月は石崎パスト会長、5月は井伊パスト会長（ガバナー補佐エレクト）、そして6月は来週の掲載となりますが長屋会員です。それぞれの事業分野業界における興味深い話や職業奉仕に対する考え方、そして何より皆さんの真摯な生き方を窺い知ることができて、職業奉仕委員としてだけでなく私個人的にも大変勉強になりました。

④昨年度整備いただいた当クラブのホームページに

ある「私の職業タウンページ」につきまして、会員情報のデータ更新を行なうこととしております。まだ一部会員の方々からの情報待ちもございますが、これにつきましては完遂するようにいたします。

以上の4点が具体的な取り組み実施内容となります。皆さまのご理解とご協力をいただきながら何とか職業奉仕理事を務めさせていただきました。御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



## 国際奉仕担当理事代理 木田 昌宏

小林国際奉仕担当理事が体調不良のため、委員長方針を受け継ぎ事業展開をして参りました。

一つ目の方針は、「新型コロナウイルスのワクチンや治療薬が効果的に普及してもコロナ以前の生活に戻るかどうか不明な現状で、相互訪問等の交流が難しくなることも考えられる。新たな国際奉仕のあり方を検討し、将来の事業活動の実行方法を模索する初年度としたい。」とのことで、具体的計画として「事業実施の現地への代表団派遣は無理と思われるので、インターネットを利用した会議や現地事業の中継を前向きに検討する」との事でした。

具体的な事業としては、「クリーンウォータープロジェクト（CWP）」が14年目を迎え、冷却装置付き浄水器設置工事については、ナコンパノムロータリークラブが主導の下、2021年11月26日～2022年2月20日までで完成しました。

本年度の設置学校はノンワンウイッタヤヌルスクールの1校でした。

この学校でちょうど30校目になりました。

この学校の詳細ですが、ナコンパノム市街から約90キロ離れた位置にあり、先生数20名で小学校から高校まであり生徒数は250名規模で校舎は2棟です。飲料水は購入している状態でした。

工事完了後において「CWP贈呈式」を2月21日16時～17時30分に、インターネット（Zoom）にて事業実施校のノンワンウイッタヤヌルスクールと当クラブのホームである新大阪江坂東急REIホテルを中継して行いました。

当クラブからの出席者は15名の参加で、画面越しながら、アリスラ氏により通訳をとおして、メンバー同士の親交と、学生のお礼の踊りなどを観覧し、和やかな贈呈式になりました。

本来なら現地へ出向き直接、ナコンパノムロータリークラブ（NPRC）メンバーや学校の子供たちと、親交を深めながら進めていく事業ですが、コロナ禍により現地に出国することが出来ず残念でした。

反面、Zoomによる贈呈式を開催をしたことで、現

地に出向かなくてもメンバー同士、そして実施校の方々との交流が出来ることでより多くのメンバーが贈呈式を体験できたのは、素晴らしい成果ではないかと感じました。

事業終了後、NPRC会長のKarnchanor Thampokin 会長からメッセージも届きました。

内容は、「私たちは、浄水器とそのフィルター資金として99,594.21バーツを大きな喜びと共に受け取りました。貴クラブのこのご貢献を深く感謝申し上げます。」との事でした。

二つ目の方針は、「姉妹クラブのコロンボセントラルロータリークラブ（CCRC）とは何らかの共同事業を行う事は、先方の要望を検討して実行の可否を決める。」でした。

CCRCとて2020-21年度におこなった、「Pre school Kalutara Children play ground」において昨年度より課題であったサインボードの設置の件ですが、事業結果の完了として、Silvaパスト会長に設置されたサインボードの写真を送るよう要請しました。

ジルバパスト会長より、この事業の担当者であったChandara会員へその旨を伝えたとの返答がありましたが、以後、Silvaパスト会長自身が体調不良とのことでクラブの例会にも長期間欠席しており、返答が出せないとのことでした。数日後に再度、サインボードの写真等を欲しいと依頼しましたが、いまだに返答がありません。

当然、本年度は、共同事業の要請もありませんでした。

今後は、姉妹クラブとしての方向性は、先方からの連絡を待つのみとなっております。

特別事業として、地区国際奉仕委員会より要請のあったコロナ禍による特別事業で国際奉仕プロジェクトに5万円を拠出し、参画致しました。

ロータリー財団委員会におきましては、仁科委員長が早期に寄付金を集めて頂き目標金額もすぐに達成できました。ありがとうございました。

最後に、今年の、クリーンウォータープロジェクト贈呈式においては、インターネットを利用した内容であったので得意な分野での事業となりましたが、Web会議推進の木下幹事及び塚脇副委員長、そして参加頂いたメンバーのお力添えにより成功裡に終えたことを感謝致します。



## 青少年奉仕担当理事 瀬川 昇

青少年奉仕活動の報告です。今年度は具体的計画としまして、

・大相撲木瀬部屋の力士と共に地元の幼稚園・小学校

に訪問し園児・児童との交流活動を行う。

- ・ライラ・ニコニコキャンプへの参加協力推進
  - ・大阪学院大学ローターアクトクラブ設立の支援及び検討を行う。
  - ・吹田ローターアクトクラブへの協力を推進する。
- この4点を計画しておりました。

大相撲木瀬部屋との交流事業につきましては、11月1日に青山台小学校を訪問し、校長先生、教頭先生と面会してまいりましたが、実施予定の3月にコロナが再度まん延のため、残念ながら2年連続の中止となりました。来年度は実施できることを期待しております。

ライラ・ニコニコキャンプへの参加推進につきましては、こちらもコロナ禍のため、案内のみとなっております。

大阪学院大学ローターアクトクラブにつきましても、コロナ禍により話が進んでおりませんので今後の引継ぎ事項となりました。

吹田ローターアクトクラブとの交流につきましては、今年度は3月7日の例会に吹田ローターアクトクラブのグラインドスタッフクリストファー龍太郎会長をお招きし、ローターアクトクラブの歴史と活動の概要についてお話しいただきました。なかなか交流できておりませんでしたので良いきっかけになったと思っております。

その他、青少年奉仕では、11月15日に青少年奉仕特別例会としまして、創立40周年記念講演にて講演していただきましたパラリンピック代表の工藤博子氏をお招きし、講演していただいております。

また、3月25日に青少年奉仕の炉辺談話を行いました。

（テーマ）青少年奉仕の当クラブの事業といえますと、大相撲木瀬部屋との交流事業がありますが、昨年に続いて中止となりました。今後の青少年事業の提案がありましたら、挙げてください。

- ・大相撲木瀬部屋との交流は今後も続けていくべきである。
- ・今期は社会奉仕委員会より、ジャンボ将棋を浜屋敷に2セット寄贈したので、それを使ったジャンボ将棋大会を青少年奉仕と社会奉仕で協力して進めていってはどうか。

次に、米山記念奨学会委員会ですが、例年と同じく一人30,000円の米山記念奨学金の寄付の募集をしました。奨学生につきましては、大阪大学スリランカのワツァラさんが令和3年9月迄でした。近藤委員長にご対応いただきました。令和4年の4月より、大阪女学院大学インドのエランバムガントイビさんを迎えております。こちらは2年間となっております。今後





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Rotary



交流を深めてまいりたいと思います。

最後に、青少年交換委員会ですが、方針としまして、海外への学業研修希望者がいるかどうか確認し、希望者がいれば、対応する。とさせていただいております。

今年度は青少年交換の理解を深めるため、5月9日の卓話に第2660地区青少年交換委員会、委員長の和泉谷研（いずみたに さとし）様と副委員長の久松秀雄（ひさまつ ひでお）様にお越しいただき、青少年交換について説明いただきました。少しでも理解を深める機会となれば良かったです。

今年度を振り返りますと、メインの事業が出来ませんでしたので残念でしたが、来年以降実施に向けていただきたいと思います。以上報告を終わります。



職業奉仕担当理事 堀 豊



クラブ奉仕担当理事 清水 良寛



国際奉仕担当理事代理 木田 昌宏



社会奉仕担当理事 橋本 幸治



青少年奉仕担当理事 瀬川 昇